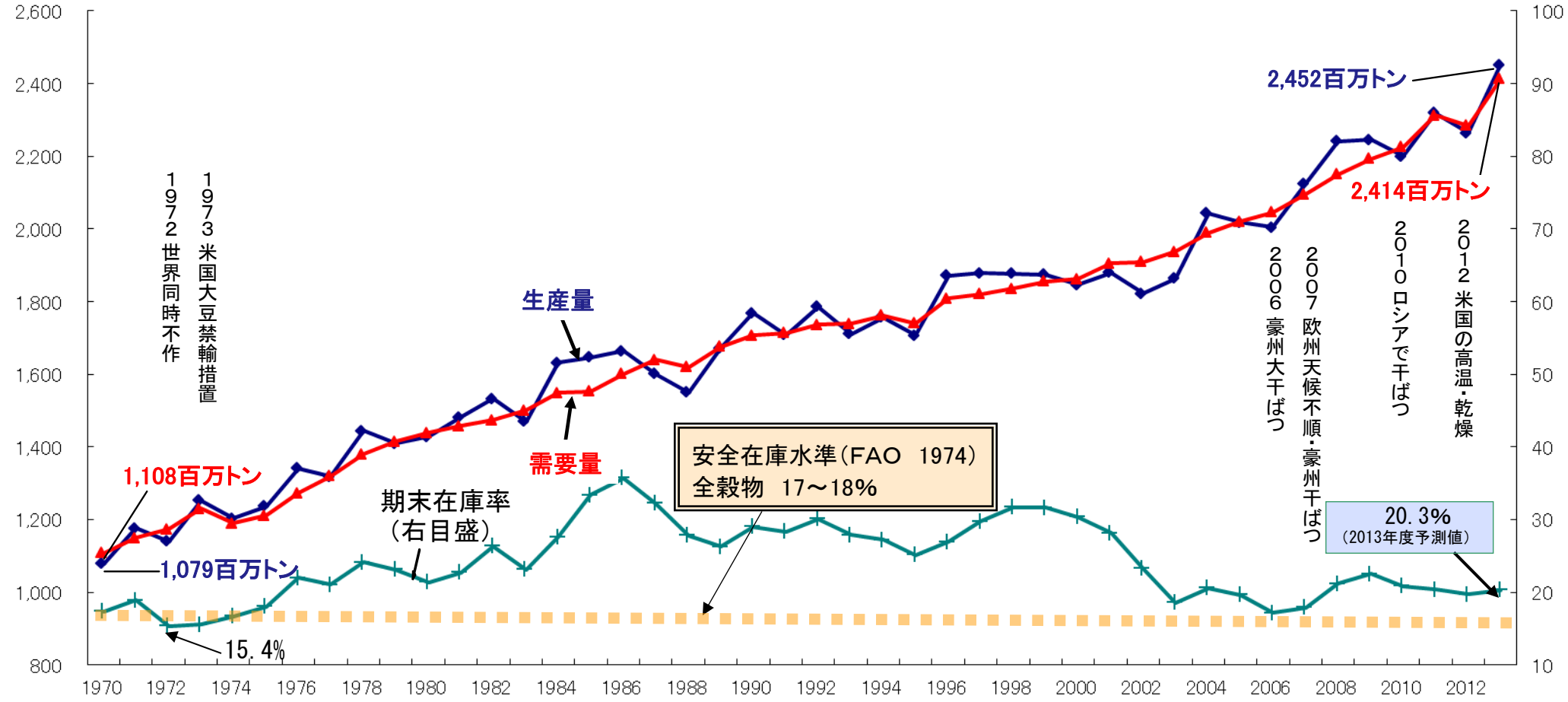
資料３　穀物の需要量、生産量、期末在庫率の推移

○　世界の穀物需要量は、途上国の人口増、所得水準の向上等に伴い、1970年に比べ約２倍の水準に増加している。一方、生産量は、主に単収の伸びにより需要量の増加に対応している。

○　2013/14年度の期末在庫率は、生産量が需要量を上回り、20.3%と2012/13年度（19.8%）に比べ上昇する見込み。

□　穀物（米、とうもろこし、小麦、大麦等）の需給の推移



資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」(April 2014)、「Grain:World Markets and Trade」、「PS&D」

（注）なお、「Grain:World Markets and Trade」、「PS&D」については、公表された最新のデータを使用している。